

第48回大阪府環境審議会会議録（抜粋）

開催日 平成25年11月22日

開催場所 プリムローズ大阪 2階 「鳳凰」

奥野会長 あとはずっと報告になるんですが、最初の2つはちょっと時間をかけてもいいんですが、その後は少しずつコンパクトにお願いしておきたいと思っています。

まず、環境総合計画の進行管理につきまして、部会長が休みなので、すみません。

石井委員 部会長代理を務めております石井でございます。よろしくお願いいたします。

まず最初に、大阪府の方からですけれども、環境の状況につきましてご説明をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

南部環境農林水産総務課長 環境農林水産総務課の南部でございます。

私から、今の部会長代理がお示しをいただきました資料番号2-1にございます、おおさかの環境の状況の概要を中心に、前のスクリーンでご説明を申し上げたいと思います。よろしくお願いいたします。

まず、大気の状況でございます。左のグラフ、二酸化窒素濃度、右のグラフ、浮遊粒子状物質濃度とも年平均値は改善傾向にございます。また、全ての測定局で環境保全目標を達成しております。

なお、冒頭、部長の挨拶にもありましたが、微小粒子状物質、PM2.5につきましては、環境保全目標の達成は33局中1局のみで、厳しい状況となっております。

次に、水質の状況でございます。上のグラフは河川の水質でございますが、おおむね改善傾向にございますが、下のグラフ、海域の水質は横ばい傾向が続いてございます。

化学物質の状況でございます。まず左のグラフ、ダイオキシン類についてですが、廃棄物焼却炉の対策が進んだことにより、府内の排出量は近年、大幅に減少しております。右のグラフでございますが、化学物質の環境への排出量の

把握等及び管理の改善の促進に関する法律、いわゆるP R T R法の対象となっている化学物質については、その排出量は減少傾向となっており、

次に、地球温暖化関係でございます。グラフの右端、2011年度の温室効果ガスの排出量は5,516万トンでございます。基準年がグラフの左端、1990年度と比べまして6.7%減少しております。しかしながら、原発停止後の火力発電量の増大に伴いまして、電力のCO₂排出係数の増加により、前年度、2010年度と比べますと大幅に増加をしている状況でございます。

太陽光発電の導入状況でございます。年々増加の傾向でございます。グラフの右端、2012年度末現在で合計約25万キロワットとなっております。これは前年度、2011年度と比べますと約40%の増加となっているところでございます。

次に、廃棄物・リサイクルの状況でございます。一般廃棄物について、2011年度の1人1日当たりの排出量でございますが、いまだ1,085グラムと全国平均を上回っている状況でございます。しかしながら、グラフで見いただきますように、全国平均を上回るペースで減少はしているところでございます。

最後のグラフでございます。産業廃棄物についてでございますが、排出量全体の低下に伴いまして、減量化やリサイクルの推進に伴い、2010年度の最終処分量は約47万トンとなっており、2005年度と比較して30%減少しております。

以上、おおさかの環境の状況についてご報告いたしました。よろしく願います。

石井委員 ありがとうございます。

では続きまして、大阪21世紀の新環境総合計画について、環境総合計画部会で点検評価を行った結果についてご報告いたします。

資料の2-3をごらんください。平成24年度の環境の状況の概要につきましては、ただいまご説明があったとおりです。資料の2-3ですけれども、部会において行いました点検評価の概要になっています。もう1つ、資料の2-4がございますけれども、これが詳細な点検評価の結果となっております。本日は時間もありませんので、資料2-3を使って報告させていただきます。

平成23年3月に大阪府が策定いたしました大阪21世紀の新環境総合計画におきましては、毎年度のPDCAサイクルと、そこに図がついておりますけれども、3から4年の複数年ごとのPDCAサイクルで進行管理を行うこととし

ております。

資料の左下にごございますように、今年度は平成25年8月7日に環境総合部会を開催いたしました。ここで、平成24年度の環境に関して講じた施策について毎年度サイクルの点検評価を行ったところです。この部会では、主な施策事業の年度ごとの取組指標の達成状況と改善の方向性について議論しますとともに、今後の点検評価方法に関する検討事項になどについてもあわせて議論しております。また、重点的な点検評価としまして、今回は健康で安心して暮らせる社会の構築の分野、すなわち大気環境、水環境、化学物質のリスク管理を対象とした検討も行っております。

では、右側の面をごらんください。これが概要でございますけれども、全般事項として、点検評価の方法についてまず検討を行いました。

まず、施策事業の目標、指標につきましては、事業の効果をより明確に把握できる目標や指標の設定に努めるべきであるという意見が出ました。把握が難しい事業もあるんですが、府において引き続き検討を進めるという回答がございました。また、一部の施策事業で、府のインターネットモニターアンケートを実施しております。意識調査の結果を指標とするというケースがあるんですが、調査手法の制約などに配慮してデータを解釈すべきというご指摘がありました。

そのほか、重要な施策事業の位置づけ、それから外部経済効果も含めた施策効果の把握などについても意見が出され、それらは26年度に実施される複数年サイクルの点検評価の際に具体的に検討していくこととなりました。

次に、個別の施策事業について点検評価を行いました。全般的に施策事業は適切に自己点検がなされており、おおむね順調に進んでいるということが認められました。

主な意見等といたしましては、事業者の温室効果ガス排出量について、実際の温室効果ガス排出量をあらかず環境省のガイドラインの係数による値、それから事業者の対策効果を判断するための固定した係数による値、この2通りを示すべきではないかという意見がありました。これにつきましては府から、今後は可能な限り2通りの値を示すという回答が得られております。

また、重点的な項目ですけれども、健康で安心して暮らせる社会の構築の分

野の大気環境、水環境、化学物質のリスク管理につきまして評価を行いました。

まず、大気環境についてですけれども、主な意見として、今後の自動車排ガス対策として、量的管理の必要性について意見がございました。これについては府から、流入車規制の継続に加えてエコカーの普及、あるいは交通需要の調整・低減などに引き続いて取り組んでいくという回答がございました。

水環境ですけれども、大阪湾の貧酸素水塊の改善のための対策について意見がありました。これにつきましては府から、陸域からの流入負荷量の低減、それから海域でのくぼ地の埋め戻し等の対策によって改善を図るという回答がございました。

化学物質のリスク管理につきましては、化学物質の排出量の低減が生産活動の低下の影響ではなく排出削減対策を行ったことによるものかどうか、これを評価すべきという意見がございました。これについて府から、府条例に基づき把握している化学物質の取扱量の情報から、各事業者の排出削減の取組状況を把握して、必要に応じて指導を行っているという回答がありました。また、今後、事業者の取組状況を評価するために、化学物質の取扱量に対する排出量の比率などの指標を使いまして検討しましょうと、このような回答がありました。

その他、部会では多くの意見がございましたが、その内容と府の対応につきましては、先ほど申しました資料2-4に示してございます。

点検評価結果については、府において次年度以降の施策事業の内容に反映することとされています。このような形で環境総合計画部会における大阪21世紀の新環境総合計画の点検評価結果を取りまとめております。

部会報告は以上です。

奥野会長 ありがとうございます。部会からの報告を感謝申し上げます。

それでは、ただいまのご説明、2つといたしますか、大阪府の環境の状況と、それから主な話題はその点検評価なんですけど、何かご質問、あるいはご意見はございませんでしょうか。

2-1の資料はおおさかの環境の概略を示していただいているところでして、これを見て大体、おおさかの環境はこういう状況だということで、部会の話題は2-3に、詳しくは2-4ということで、年度サイクルで評価する場合にどうしていったらいいか、すごく難しい問題なんですけど、これに部会にチャレ

ンジしていただいていると。

一言で言うと、私の理解としては、環境って1年ごとに、P D C Aと絵が描いていますが、それだけでやっけてはあっちへ行ったりこっちへ行ったりするかもしれません。ですから、もうちょっと長い目で、1年度ずつサイクルするのがもうちょっと長期的にどこへ行くかと、この2つをやらないといけないというのが、一言で言うとそういうことですね、石井先生。

石井委員 難しいことを振られてしまいましたが、そういうことだと思います。例えば電車の運行でしたら、どのようにダイヤが動くのでどんなふうに電車をやりくりするかと、そういう単年度細かい問題と、実際にどういう路線をつくるかとか、そういう大きな問題は2つあるわけですし、その2つを両方合わせてやっているということです。

奥野会長 その趣旨でまとめていただいていると私は思いますので、引き続きお願いしたいと思います。

ほか、何かお気づきの点はございませんか。よろしいでしょうか。

それでは、次の話題に移らせていただきます。

— 了 —